

平成28年9月30日  
四国電力株式会社

## よんでんグループ中期経営計画 2020 の策定について

当社グループは、エネルギーを中心として、人々の生活に関わる様々なサービスを高い品質で提供し続けることにより、快適・安全・安心な暮らしと地域の発展に貢献するというグループミッションを掲げ、「暮らしを支えるマルチユーティリティー企業グループ」の実現を目指して事業運営を進めています。

電力の小売全面自由化をはじめ、事業環境が新たなステージへと移り変わりゆくなかにあっても、当社グループが将来に亘り持続的な成長を成し遂げていくことができるよう、このたび、2020年度までの5カ年をターゲットとした経営方針と定量的な経営目標を新たに設定し、「よんでんグループ中期経営計画 2020」として取りまとめました。

経営方針については、収益力の変革に向け、

- ・電力供給基盤の強化および顧客基盤の強化を通じた『電気事業における収益基盤のさらなる強化』により、強みを活かして安定収益を確保するとともに、
- ・市場エリアの拡大、ビジネス領域の伸長およびサービスの融合への挑戦を通じた『次なる成長エンジンの創出・育成』により、将来の収益源となる新たな価値を創り出すこと

を5カ年の重点取り組みテーマに位置付け、計画的に取り組んでまいります。

また、定量的な経営目標については、

- ・2020年度におけるROA（総資産利益率） 3%程度
- ・2020年度末における自己資本比率 25%以上
- ・5カ年累計（2016～2020年度）の営業キャッシュ・フロー 5,200億円以上

を目指してまいります。

総資産利益率：事業利益（経常利益＋支払利息）÷総資産（期首・期末平均）

当社グループといたしましては、今後とも、お客さまの毎日の暮らしや経済・産業活動に欠くことのできないエネルギーをお届けする事業者としての公益的使命や社会的責務を着実に遂行していくとともに、本計画に基づき、グループが一丸となって挑戦していくことにより、将来に亘る持続的な成長を目指してまいります。

「よんでんグループ中期経営計画 2020」の概要は、別紙のとおりです。

事業環境が変化するなか、将来に亘り持続的な成長を図っていくため、今後5カ年の経営方針と定量的な経営目標を「よんでんグループ中期経営計画2020」として取りまとめました。今後、本計画に掲げるロードマップに従って、スピード感のある取り組みを推進し、「よんでんグループビジョン」(2011年公表)に示す、使命・存在意義を具現化した目指すべき将来像の実現を目指します。

1. 基本コンセプト

外部環境が急速に変化するなか、グループビジョンの実現に向けて、2016～20年度の5カ年において、将来に亘る持続的成長を目指した収益力の変革に取り組みます。

【グループの使命・存在意義】  
快適、安全、安心な暮らしと地域の発展に貢献します

グループの強み・特長

- 競争力のある供給力
- お客さまとの距離の近さ
- グループの総合力

環境変化

- 小売全面自由化、法的分離、環境規制強化
- 市場競争の進展、アライアンス
- 経済の成熟化、少子高齢化、省エネ
- 蓄電池の導入、IoT化

グループビジョン  
【目指す将来像】

暮らしを支える  
マルチユティリティ  
企業グループ

2016～20年度  
➢ 持続的成長を目指して 収益力を変革する  
～ Profitability Innovation～

- 2011～15年度  
➢ 原子力の全台停止に伴う危機の克服と事業経営の正常化に注力

ロードマップ～5カ年の重点取り組みテーマ～

電気事業の収益基盤のさらなる強化  
強みを活かして安定収益を確保する

電力供給基盤の強化

- 原子力：伊方発電所の安全・安定稼働
- 火力：経年設備の高効率化(リプレース)設備稼働率の向上による効率改善
- 送配電：安定的な運用と効率的な設備更新
- 環境規制への適応、コスト効率の向上

顧客基盤の強化

- ライフスタイルやビジネスニーズに即した料金メニューの提案
- お客さまのニーズに即した幅広いソリューションサービスの展開

次なる成長エンジンの創出・育成  
将来の収益源となる新たな価値を創り出す

市場エリアの拡大

- 四国地域を拠点としつつも、事業内容に応じて対象エリアを四国域外や海外に拡大

ビジネス領域の伸長

- グループが保有する技術・ノウハウと、四国地域の産業特性やニーズを重ね合わせて、ビジネス領域を伸長

サービスの融合

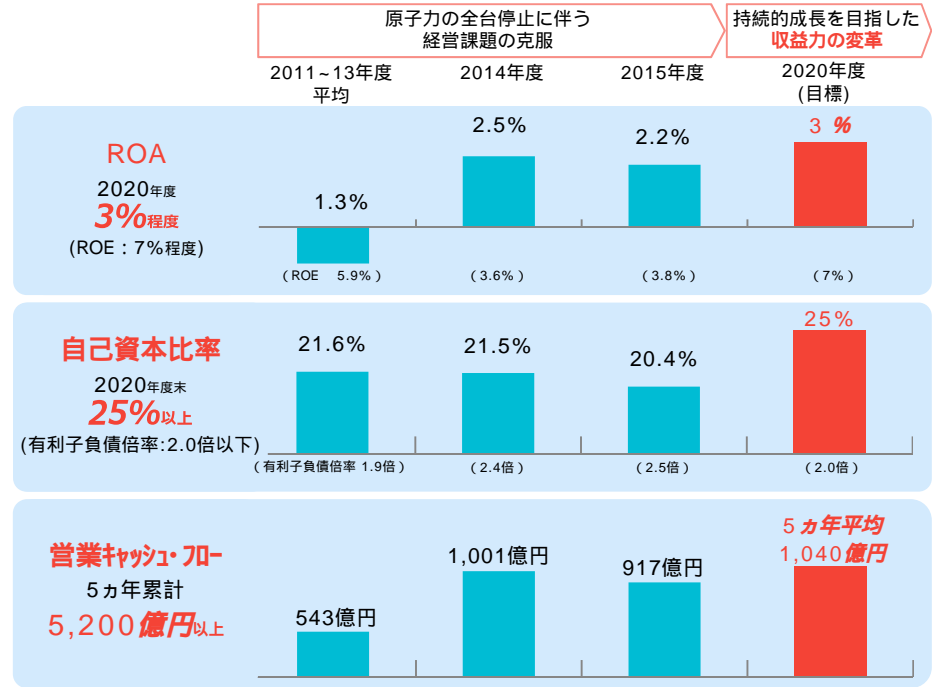
- 異業種とのアライアンスを通じて、多様なサービスを組み合わせ、お客さまの潜在的なニーズとのマッチングにより、新たな市場を創出

電力需要の創出

従業員の多様な能力と組織力の発揮

エネルギー事業者としての公益的使命と社会的責務の遂行

2. 2020年度 経営目標(連結)



\*本計画では、原子力については、伊方3号機の再稼働のみを織り込んで算定  
\*ROA：事業利益(経常利益+支払利息)÷総資産(期首・期末平均)

<参考>セグメント別利益計画



3. 株主還元

基本方針

「安定的な配当の実施」を株主還元方針の基本とし、配当水準については、業績水準や財務状況、中長期的な事業環境などを総合的に勘案のうえ判断します。

目指すべき目標

1株当たり配当額 50円  
伊方3号機の安全・安定稼働による事業運営の正常化と安定的な収益の確保等を前提に、1株当たり配当額50円の実現を目指します。